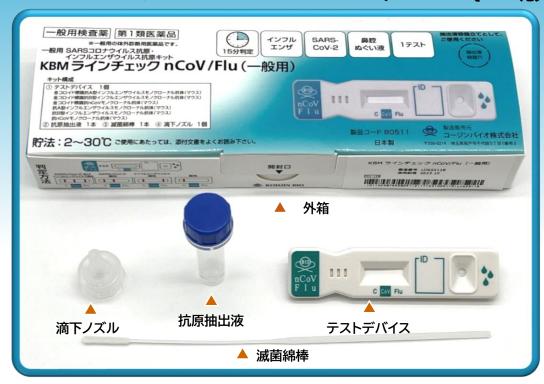
製造販売承認番号 30500EZX00034000

※ 一般用の体外診断用医薬品です

·般用SARSコロナウイルス抗原・インフルエンザウイルス抗原キット

KBM ラインチェック nCoV/Flu(一般用)



国が承認した抗原定性検査キット

インフルエンザとの判別が可能

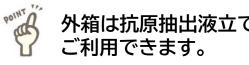




インフルエンザウイルス 陽性例







体調が気になる場合等のセルフチェックに最適

- ◆発熱やせきなどの風邪のような症状(のど、咽頭痛、倦怠感など感冒症状を含む)が出た時に、抗原検査キット を使用すれば、自宅で簡単に短時間で、ご自身で検査ができます。
- ◇順天堂大学大学院医学研究科 切替 照雄 先生の研究グループとの共同により開発された製品です。 陽性は、1~15分で判定可能で、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)との判別が困難なインフルエンザ ウイルス感染症との同時診断が可能となります。

製品情報

測定原理:免疫クロマトグラフ法

使用目的:鼻腔ぬぐい液中のSARS-CoV-2抗原、

A型インフルエンザ抗原およびB型インフルエンザ抗原の検出 (SARS-CoV-2感染疑い、インフルエンザウイルス感染疑いの判定補助)

貯蔵方法:2~30℃

判定時間:試料滴下後1分~15分

外装サイズ:W190×D60×H25.5(mm)

【キット構成】

【十分に構成】		
品名		KBMラインチェック nCoV/Flu(一般用)
製品コード		80511
構成試薬	テストデバイス	1個
	抗原抽出液	1本
付属品	滴下ノズル	1個
	滅菌綿棒	1本



検査薬の使い方

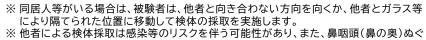
検査の準備

- 1. キットを確認し、以下の検査に必要な内 容物が揃っているか確認します。
 - ①添付文書
 - ②テストデバイス
 - ③抗原抽出液 1本
 - ④滴下ノズル 1個
 - ⑤滅菌綿棒 1本
- 2. キットの他に、時計かタイマーを準備しま す。
- 3. 冷蔵庫などで保管されていた場合には、 内容物を15~30℃に戻してから使用し ます。
- 4. 抗原抽出液容器のキャップを持ち、3回 容器を振り、抗原抽出液を容器の底に落 とします。

検体の採取

<鼻腔ぬぐい液の自己採取>

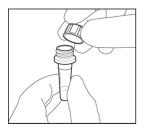
- 1. 滅菌綿棒を袋から取り出します。
- 2. 滅菌綿棒を鼻の穴から綿球全 体が隠れる程度(約2cm)挿入 します。
- 3. 滅菌綿棒を鼻の内壁に沿わせ てゆっくりと5回転させ、5秒間 静置します。
- 4. 綿球を十分に湿らせた後、ゆっ くりと引き抜きます。



い液の自己採取は危険かつ困難であるため、鼻腔ぬぐい液の自己採取によって検査を 行います。

5回転後. 5秒静置

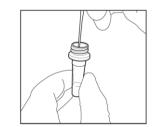
試料の調製



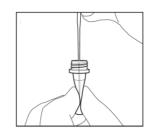
抗原抽出液容器の キャップをはずします。



検体を採取した綿棒を 抗原抽出液に浸します。



綿棒の先端をつまみながら、抗原抽出液 内で綿棒を上下に数回しごきます。

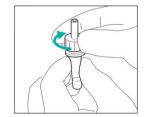


抗原抽出液を搾り出しながら、 滅菌綿棒を取り出し、破棄します。

試料の滴下



使用直前にテストデバイスをアルミ 袋から取り出して、平らなところに 置きます。



抗原抽出液容器に滴下ノズル をしっかりと装着します。



抗原抽出液容器を垂直に逆 さまにし、テストデバイスの試 料滴下部へ抗原抽出液3滴 をゆっくりと滴下します。



タイマーの始動もしくは時計 を確認し、15分間静置します。

 \mathbf{I}

判定のしかた

15分静置した時点でテストデバイスの判定部を目視で確認し、以下のように判定してください。



を行ってください。

【お問い合わせ先】

この製品のお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。

を行ってください。

絡 先:コージンバイオ株式会社 東京オフィス

E L:03-5459-1575

受付時間:10:00~17:00(土日·祝日·年末年始除<)

【製造販売元】

ください。

切に医療機関の受診等を行って

コージンバイオ株式会社

〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田5丁目1番地3

一度、検査を行ってください。

